

第5回「栗東市土地開発公社経営検討委員会」の会議録

日 時	平成24年11月20日(火) 18:00～19:40
場 所	栗東市庁舎4階 第1委員会室
出席者	委 員...野洲委員長、駒林副委員長、内田委員、大川委員 栗東市...総務部長 (事務局) 公社健全化対策課：課長、課長補佐ほか 栗東市土地開発公社...事務局
会 議 内 容	
<p>1. 開 会</p> <p>2. 会議の公開および会議資料の取扱いについて</p> <p style="padding-left: 2em;">(結果) 会議は公開し、会議資料は委員会中での検討資料とする。</p> <p>3. 議事事項</p> <p><u>(1) これまでの審議事項について</u></p> <p style="padding-left: 2em;">直近の公社の経営状況として中間決算の状況を確認されるとともに、先に委員会が実施された用地取得経過の検証での指摘事項に対する委員会の見解を議論された。</p> <p style="padding-left: 2em;">(委員からの意見)</p> <p style="padding-left: 2em;">[公社の経営状況について]</p> <p style="padding-left: 2em;">委員...直近の損益計算書と貸借対照表をみても、公社としては経営改善に取り組んでも現実的には自力での再建は難しい状況にある。</p> <p style="padding-left: 2em;">委員...公社の現状は、経営破綻にあるとの認識は変わらない。</p> <p style="padding-left: 2em;">[公社の用地取得経過の検証について]</p> <p style="padding-left: 2em;">・「鑑定評価額を上回る取得価格」について</p> <p style="padding-left: 2em;">委員...本件は新幹線新駅関連でバブル期での取得である。別の「新幹線新駅設置に係る栗東市土地開発公社用地先行取得検証委員会」での見解でも、「特に不合理とまでは言えない」と結論づけている。</p> <p style="padding-left: 2em;">委員...鑑定評価額を上回る取得ではあるが、特に不合理に上回る価格で取得されたところまでは認められない。ただし、一般論としては合理的な説明が求められる。</p> <p style="padding-left: 2em;">委員...取得価格の合理性は、その時々によつて妥当かどうか判断されるが、手続きの中で公社の内部統制機能が働いていないことには触れる必要がある。</p>	

・「県事業（河川改修事業）への関与」について

委員...今後、県事業に協力する際は、事業見直しの場合等を想定してリスクというものを考えた上で、県と取り交わしをきっちりとしておく必要がある。

・「取得手続きの順序」について

委員...公社の役員は市の役員が兼ねていることから、内部統制機能が働かない。

・「事業計画の見通し」について

委員...市のあまい事業計画のもとに先行取得依頼がされても、公社で独立した内部統制機能が働いていれば、本当にその計画でいいのか検討されることになるが、そのチェックがされていない。

・「総括」

委員...新幹線新駅事業や県事業では、当時予測困難な事情から今日の状況を招いた大きな要因になっている。取得経過の中で、手続きでの内部統制機能の問題は指摘するが、特に不合理な取得というところまでのものではない。今後に向けては、様々な教訓としていく必要がある。

（２）公社の今後のあり方について

前回の委員会に引き続いて、公社存続の可否について議論された。

（委員からの意見）

[公社の保有土地の処分見通しについて]（前回５億円程度の処分見込みを提示）

委員...再度、全事業から検討しても、たちまち処分できる見込みの保有地は見あたらぬ。財政シミュレーションのとおり、三セク債は１６０億円で考えていかざるを得ない。

[公社存続の可否について]

委員...三セク債を活用した場合の財政シミュレーションでも、厳しい年がある。

委員会としても、三セク債の利率低減を要望した方がいい。

委員...三セク債は活用していくにしても、用地の処分には努めなければならない。

委員...委員会としては、「三セク債を活用して解散」という方向で確認したい。

（３）経営検討委員会報告書のとりまとめについて

（委員からの意見）

委員...公社が悪者的な見方をされているが、市の事業計画で公社が引きずられているので、市側の責任というものを指摘しておかなければならない。

４．閉 会